

## ● 聴読解問題スクリプト

### Track 4

**練習** 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しい事を知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見ておいてください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

### Track 6

**1 番** 先生と学生が教育学の授業で、高校生に対する自由研究の指導の仕方について話しています。この先生は、どの部分の指導が一番重要だと言っていますか。

**先 生**：これは、私が以前、高校で生徒たちに配ったものです。そのときは、この順番で生徒が自分で好きな課題、つまり研究テーマを決め、レポートを完成させるという授業でした。では、どの部分の指導が一番重要だと思いますか。

**男子学生**：うーん……。 「現場に立つ」 っていうのは、実際にインタビューや調査をするので、そのための指導が必要だと思います。

**女子学生**：私もそう思います。それから、高校生だと、レポートの書き方自体もわからないんじゃないでしょうか。……テーマは自分が興味のあるものを選べばいいし、資料も図書館やインターネットを使って、自分で探せると思います。

**男子学生**：……ですが、中には、自分は何に興味があるのか、よくわからないという生徒もいると思います。

**先 生**：はい、実はそこがとても大切なんです。資料探しも慣れない生徒には指導が必要ですが、何よりも、知ることが楽しくなるような課題を見つけさせなければなりません。それができれば、生徒は自分から学ぶようになります。主体的に体験させることが自由研究の目的ですから、ここの指導が最も重要なところで

### Track 7

**2 番** 先生が心理学の授業で、人の話の聴き方について話しています。この先生が挙げた話の聴き方の例は、この表の中のどの要素の使い方が不適切であるといえますか。

人の話を聴くときは、時々「はい」「そうですね」など相づちを打つと、話を聴いているということが話し手に伝わります。他にもこの表にあるように、話し手との距離をどれくらいとるか、話し手のどこを見て聴くか、表情はどうかなど、言葉以外の非言語的要素が適切に使われると、聴いているというメッセージが話し手にうまく伝わり、話し手が励まされたり、場の雰囲気はよくなったりします。しかし、例えば、話し手のほうを見て、にこやかな表情で、適度にうなずきながら聴いていたとしても、手に持ったボールペンを小刻みに振っていたりするとどうでしょう。話し手は、聞き手が自分の話にうんざりしている、と思うかもしれません。

### Track 8

3番 先生が、経営学の授業で話しています。この先生が最後にする質問の答えは、図のどれですか。

企業にとって、製品を作るためによりよい技術を開発することはとても重要です。この図は、ある新しい製品の売り上げの変化を表しています。新しい製品は、発売してから次第に売り上げが伸びていき、安定して売れるようになります。しかし、その製品がある程度普及してしまったり、他社から似たような製品が出てきたりすると、売り上げは落ちていきます。つまり、企業が生き残り成長し続けるには、一つの製品に頼らず、次の製品をどんどん開発し続けなければならないということです。そして、新たな製品の開発には、新たな技術が必要です。製品の発売後しばらく経って、その製品の売り上げが急激に伸びている時期には、次の製品のための技術の準備をしていなければなりません。そして、販売中の製品の売り上げが高く安定している時期には、新たな技術を用いた次の製品を導入していなければならないのです。つまり、新製品のための技術を準備しなければならない時期は、図のどこですか。

### Track 9

4番 男子学生が、自分のWebページについて女子学生の意見を聞いています。この男子学生は、Webページをどのように変えることにしましたか。

男子学生：ほくのWebページに、この間書いた論文を載せることにしたんだけど、ちょっと見てくれる？

女子学生：ああ、これは論文の目次か。

男子学生：そう、章の見出しをクリックすると、その章が読めるようになってるんだ。デザインはこんな感じでいいかな。

女子学生：うーん、これ、中央ぞろえにしてるけど、頭がでこぼこなのは変な感じだから、左をそろえた方がよくない？

男子学生：あ、そうだね。

女子学生：それと、三つ目の「研究のきっかけ」っていうのはこの位置でいいの？ きっかけを書くんだったら、いちばん最初がいいんじゃないかな。ああ、でも、だいたい論文なんだから、きっかけ、ってのは書かなくてもいいんじゃない？

男子学生：うーん、でも、この順番で書いて提出しちゃったから、もう変更はできないんだ。ともかく、目次のレイアウトだけは変えることにするよ。

#### Track 10

5 番 先生がスポーツ心理学の授業で、剣道をするときの目の動きについて話しています。この先生の説明から、上級者の視線の移動パターンと考えられる図はどれですか。

剣道の試合では、竹刀という竹でできた刀を持って一対一で対戦します。相手の面や胴、小手といった防具の部分を自分の竹刀で打つと、得点になります。この図は、試合中の競技者の視線の動きをパターンとして表しています。縦の欄は、面、胴、竹刀、小手の項目、横は時間経過で、相手のどこにどれくらいの間視線があったかを黒く塗って示しています。

剣道では、相手の動きに気をとられ、いちいち視線を動かすのはよくないとされていますが、事実、上級者は、よく動く竹刀などには目を向けず、相手の目の辺りに視線を向けたまま、相手の動きに適切な動きで対応していました。

一般に、視線を動かすことで注意をあちこち向けるより、視線を動かさず、視野に入ってくる周辺の情報を同時に得た方が、動作全体の把握には適しているといわれています。全体を見ることで、広い範囲の情報から、注意すべき場所をより素早く的確に選択でき、適切な対応ができます。上級者はこの効率のよい方策をとっていると考えられます。

#### Track 11

6 番 先生が、企業の研究開発体制や、研究者・技術者の処遇に関するアンケート調査の結果について説明しています。それぞれの質問項目すべてについて全体的な傾向と一致する会社はどれですか。

えー、このほど、ある雑誌社が日本の主な企業101社に対して、顕著な業績を挙げた研究者・技術者をどのように処遇しているかについてアンケート調査をしました。ここにお見せしているのは、その結果をまとめたものの一部ですが、個別に見ていく前に、回答のあった全70社についての調査結果の全体的な傾向がどうであったかをお話ししておきます。

まず、調査項目1「顕著な業績を挙げた研究者・技術者に対する特別な処遇制度があるか」については、何らかの特別な処遇を行うという回答が多く見られました。また、2の「表彰制度があるか」では、特別なものは設けずに社内の一般的な表彰制度の中で取り扱うとした会社が最も多くを占めました。さらに3の「特許に対する報償金に上限があるか」については、「上限無し」と答えている会社が多いようです。そうすると、この表の中で、今お話しした全体の傾向にすべて一致する会社という、どれになるのでしょうか。

Track 12

7 番 先生が、ストレスと生態系の関係について、図を見せながら話しています。この先生の説明によれば、ストレスを加えると、動物プランクトンAとBはどのように変化しますか。

図を見てください。水槽に水を入れてしばらくすると、水槽の中には動物プランクトンが増えてきます。最初に小さなワムシ類が増え、そのあと小型のミジンコが加わり、いろいろな種類の生物が増えます。しかし、大型のミジンコが現れると、ワムシ類や小型のミジンコは競争に負けてしまいます。つまり、大型のミジンコは競争に強い種であり、ワムシ類や小型のミジンコは競争に弱い種であるといえます。

さて、この水槽に、動物プランクトンにはストレスとなる有害な化学物質を入れると、どうなるでしょうか。実は、競争に強いもののほうがストレスには弱く、大型のミジンコがいなくなります。そして、それがなくなると、その後、ワムシ類や小型ミジンコが増えてきます。つまり、競争に強い種はストレスの影響を直接受けますが、競争に弱い種にも間接的に影響が及ぶのです。

Track 13

8 番 女子学生と男子学生が昨日降った雨について話しています。この二人の話から、昨日の雨の量は、「雨の強さと降り方」を示す表の中のどの雨量だったと考えられますか。

女子学生：昨日の雨、すごかったね。どのくらい降ったのかな？

男子学生：かなり強かったよね。駅からうちまでの5分ぐらいの間にびしょ濡れになっちゃったよ。

女子学生：傘、持ってなかったの？

男子学生：いや、傘はあったんだけど、それでもかなり濡れたよ。それに、道に水たまりがたくさんできて、くつの中まで水が入ってくるし。

女子学生：そう。大変だったね。私はちょっと車で出かけてたんだけど、ワイパーを使っても前がよく見えなくてこわかった。

男子学生：危なくなかった？

女子学生：まあ、高速道路でもブレーキはちゃんと効いたからね。

Track 14

9 番 先生が授業で、資料を見せながら話しています。この先生は、生後1か月の赤ちゃんのものの見方について何と述べていますか。

生まれて数週間の赤ちゃんは、お母さんが髪型を変えると、だれだかわからなくなることがあります。人の顔を区別するには、目や鼻、口などに注目する必要がありますが、このころの赤ちゃんは、それらとは別の特徴によってお母さんを区別しているようなのです。

例えば、生まれて1か月の赤ちゃんに、資料のAやBのように図形を二つずつ並べて見せます。すると赤ちゃんは、図形の外側の輪郭を区別することはできますが、輪郭が同じときは中に書かれた形が違って同じものだと判断します。中に書かれたものも区別できるようになるのは、少し成長して生後4か月になってからです。この認識が変化する時期と、お母さんを髪型に関係なく認識できるようになる時期は、ほぼ一致しているのです。

#### Track 15

10番 先生が授業で、リスクへの対応方法について説明しています。この先生が最後に挙げる例は、図のどの方法にあてはまりますか。

一般に、事故や被害、損失が生じる可能性のことをリスクと言います。この図は、事故や被害の影響と確率の大きさによってリスクを四つのタイプに分け、それぞれにどう対応すべきかを表したものです。例えば、図のAの範囲のリスクには、「リスクの移転」、つまり、保険に加入しておくとか、被害や損失を他の組織に肩代わりしてもらうなどの対応が適切ですが、Bの範囲になると、リスク自体が生じにくい事業形態に変えるなど、根本的な対応も考えるべきです。一方、Cのリスクなら、わざわざ対策を講じるまでもなく、リスクを許容するのが適切な対応です。また、Dのものは、矢印のように確率や影響を下げる対策によって、Cの許容できるリスクに変えることができます。

では、火災への対応を例に考えてみましょう。万一発生した場合の損害は非常に大きいですが、めったに起こるものではなく、絶対に火災が起きないように予め対策をとることも現実的ではありません。この場合は、火災が発生した際の損失を他の組織にも分担させるなどの対応が適切です。

#### Track 16

11番 先生が、野生動物の適正な生息数について話しています。この先生の話によると、一定の面積あたりの生息数の目標を決めるにあたって最も難しいのは、図のどの区域ですか。

野生動物の数が増えすぎると、農耕地に現れて人に危害を加えたり、農作物を荒らしたりする恐れがありますが、やたらに捕獲しても問題は解決しません。シカの被害が多かったA地域では、シカを守りつつ被害を軽減するために、目標とする生息密度を計算することにしました。

このA地域ではまず、図のAにあたる野生動物を自然のまま保護する地区と、それ以外の農林業地区とに分け、さらに、農林業地区を二つに分けました。一つは、イの、被害抑

制区域で、地域住民の生活を第一にして、農業や林業の被害をほぼ回避できるようにする区域です。もう一つは、ウの、人が住まず、有料で狩猟ができる区域です。ここでは、シカによる被害を減らすことを目標にします。その上で、それぞれの区域ごとに、適正なシカの生息密度を図の数値のように試算しました。

この、目標とする生息数を設定するのが難しかった区域は、人が暮らしている区域です。そこでは、生活基盤である農耕地や人工林に、人が手入れをしなくなった林が入り交じっていて、こうした林にもシカが生息していました。そのような区域で、どのぐらいの生息密度が「適正」と言えるのか、シカと人間の双方の視点から妥協点を見出していくことが重要で、またそれが最も困難な作業でした。

### Track 17

12番 先生が講義で、ごみ処理の過程で出る水やエネルギーの利用方法について話しています。水やエネルギーが十分に利用できない場合もあるのは、図のどの部分ですか。

ごみは衛生的に処理するために、焼却という方法が使われています。図の左にあるように、家庭や工場から持ち込まれたごみは、焼却炉で燃やされます。その時ボイラーで発生した蒸気は、高圧蒸気溜めを通ったあと、低圧蒸気溜めに送られて熱利用されるものと、タービンに送られる発電用のものとに分かれます。低圧蒸気溜めに送られた蒸気はそこで高温の水になり、焼却施設内で給湯や暖房に利用されるほか、近くの温水プールや温室などでも熱が利用されます。一方、タービンに送られた蒸気は発電機で発電し、その電力は同じ焼却施設内や近隣施設で利用され、残りは電力会社へ売られます。なお、発電に使われたあとの蒸気は、復水器で水に戻って、再び焼却炉のボイラーに送られて再利用されます。

このように電力や熱が利用されているわけですが、ごみ焼却施設内で使わない分については、電力は有効に利用できる場合が多いのですが、熱の場合は、焼却施設の近くに需要がないと利用が難しいのです。

## ◎ 聴解問題スクリプト

Track 20

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらおう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

Track 22

13番 女子学生と男子学生が異文化体験について話しています。この男子学生は、若い人にとって重要なことは、何だと考えていますか。

女子学生：このごろの若い日本人は、昔ほど海外に行きたがらなくなったって聞くけど、ほんとなのかな。

男子学生：うん、そうらしいよ。意識調査で、留学とか、外国で働くこととかに、消極的な人が増えているっていう結果があるんだって。

女子学生：私は、留学とかしてみたいけどなあ。新しい発見もあるだろうし、自分が大きく成長できるような気がする。視野も広がると思うんだけどな。

男子学生：でもさ、自分の国にも、違う環境で育った人、考え方が違う人、自分が知らない世界で仕事をしてる人、いっぱいいるでしょ。その人たちだって、ある意味「異文化」の人って言えるんじゃない？

女子学生：ん……それもそうだね。

男子学生：海外に行かなくても、国内でいろいろな人に関わって成長できると思うんだ。

この男子学生は、若い人にとって重要なことは、何だと考えていますか。

1. 自分の国についてよく知ること
2. 海外で視野を広げること
3. 留学してその国の人と関わること
4. 様々な人と交流すること

### Track 23

14番 先生が、新入生のためのオリエンテーションで話しています。この先生が、新入生に一番伝えたいことは、何ですか。

大学に入学したばかりの皆さんにとって、これから大学での生活をどのように過ごすかは、皆さんの将来に少なからず影響を与えるでしょう。ですから、大学での生活において、勉強やいろいろな活動をたくさん行ってほしいと思います。それには、時間を上手に使うことが大切になります。時間を上手に使うためには、いつでもどこでも、すべきことに直ちに取りかかるといいでしょう。多くの人は、すぐにと言われても、今は時間が無いからとか、準備ができてないからと、行動に移すことを迷うものです。もちろん、慎重に考えるべき場合もあるでしょうが、いつもそうではないはずです。時間を上手に活用し、有意義な学生生活を過ごしてほしいと思います。

この先生が、新入生に一番伝えたいことは、何ですか。

1. 将来について、よく考えること
2. 行動に移す前に、慎重に検討すること
3. 何をするか迷ったら、誰かに相談すること
4. しなければならないことは、すぐに実行すること

### Track 24

15番 先生が、地方の議会における議会事務局という組織について説明しています。この先生は、議会事務局において問題となっているのは、どんなことだと言っていますか。

議会事務局というのは、地方公共団体の議会において、議会の運営がスムーズに行われるように議員をサポートする仕事をしている組織のことです。その仕事は、議員のための議会資料の準備や議会の運営補助、地域住民からの意見への対応など多岐にわたります。事務局のスタッフの人数は都市の規模によって異なりますが、市であれば5名から10名くらいが一般的です。事務局のスタッフは公務員であり、行政の一組織の職員として活動し



ています。議員の任期は4年ですが、スタッフは4年以内に人事異動がある場合が多く、そのたびに担当スタッフが入れ替わることとなります。そのため、継続的に議会をサポートすることは難しいのが現状だと思われます。

この先生は、議会事務局において問題となっているのは、どんなことだと言っていますか。

1. 担当するスタッフが固定されていないこと
2. 予算が限られていること
3. スタッフの人数が少ないこと
4. 議員のサポートが得られないこと

Track 25

16番 男性と女性が明日の待ち合わせについて相談しています。この二人は、何時にどこで待ち合わせますか。

男性：明日の映画、時間調べた？

女性：うん。7時40分と9時40分。

男性：9時40分は遅すぎるからやめよう。

女性：そうね。

男性：で、明日の待ち合わせの場所は駅前がいいよね。

女性：いいけど。でも、いつも人がいっぱいわかりにくいよね、あそこ。映画館の前にしない？

男性：うーん。あそこは道が狭いうえに車が多いからあぶないよ。

女性：わかったわ。じゃ、やっぱり駅前ね。

男性：時間はどうする？始まる30分前ぐらいでもいいかな。7時ちょっとすぎとか。

女性：だめだめ、もっと早く行っていい席とらなくちゃ。あの映画、今すごい人気だから、混むわよ、きっと。

男性：え、そんなに人気あるの？

女性：そうよ！だから一時間前かしらね。

男性：わかった。

この二人は、何時にどこで待ち合わせますか。

1. 6時すぎに駅前
2. 6時すぎに映画館の前
3. 6時40分に駅前
4. 6時40分に映画館の前

17番 先生が、消費者のファッションにおけるブランド志向について話しています。この先生は、最近の消費者にはどのような変化が見られると言っていますか。

最近は、かつてのように、ある一つのファッションブランドばかりを身につけるというようなことが少なくなりました。それは、消費者の中に、多様性が定着してきているからです。以前は、ブランド志向と言えば、一つの有名ブランドにこだわり、頭からつま先まで一つのブランドで揃えたファッションが一般的でした。しかし、最近では、一人の消費者がいくつもの価値観や嗜好を同時に持っていて、自分の感性や嗜好に合った商品をさまざまなブランドから買い求めることが多くなっています。そして、それらを個性的に組み合わせて自分のファッションを楽しむ人が増えているのです。

この先生は、最近の消費者にはどのような変化が見られると言っていますか。

1. 身につける物すべてを一つのブランドで揃える消費者が多くなった。
2. ブランドの商品を一度にたくさん買う消費者が多くなった。
3. ブランドの商品は買わないという消費者が多くなった。
4. 複数のブランドの商品を組み合わせて身につける消費者が多くなった。

18番 先生と男子学生が本について話しています。この先生は、本についてどんな考えを持っていますか。

先生：本を読む学生が減っているそうだけど、やっぱりそう思いますか？

男子学生：僕の周りは結構読んでますよ。友だちの中にはインターネットでダウンロードして読んでる人もいますし。

先生：ああ、電子書籍ね。どうなんだろう、機械で本を読むというのは。

男子学生：荷物が重くならないし、本屋で探し歩かなくていいから便利みたいですよ。

先生：でも、本好き人間としては、やっぱり本は紙のページをめくりながら読みたいですね。本を探すのも、時間がなければインターネットを使いますが、できれば、本屋でいろんな本を見ながらゆっくりとね。

男子学生：確かにそういう楽しみもありますね。

この先生は、本についてどんな考えを持っていますか。

1. 最近読みたい本がなくなっている。
2. 読みたい本をインターネットで紹介してほしい。
3. インターネットで読める本は便利だ。
4. 本は、実物に触れて読んだり選んだりしたい。

19番 先生が、生物学の授業で、小鳥の生態について話しています。この先生は、様々な種類の小さな鳥が、入り混じって群れを作るのは、どうしてだと言っていますか。

体の小さな鳥は、一般に、群れを作って生活しています。群れは、ふつう、同じ種類の小鳥同士で構成されていますが、冬の時期には、7、8種類の小鳥が入り混じって群れを作るケースも見られます。

その理由として、小鳥の種類によってえさの探し方が違うため、お互いを参考にしながらえさを探せるというメリットが考えられます。つまり、他の種類の小鳥のえさの探し方を真似できれば、えさを見つけるチャンスが増えるわけです。また、他の種類の鳥が見つけたえさを、横取りするチャンスも生まれます。

この先生は、様々な種類の小さな鳥が、入り混じって群れを作るのは、どうしてだと言っていますか。

1. 寒い季節でも暖かく過ごせるため
2. 繁殖相手を見つけるチャンスを増やすため
3. えさを得やすくするため
4. 共通の敵に対して攻撃するため

20番 女性と男性が料理教室について話しています。女性がこの料理教室を気に入っている一番の理由は何ですか。

女性：最近、近所の外国語学校に、料理を習いながらドイツ語が勉強できるっていうクラスができて、通ってるの。

男性：ふーん。でも、料理に関する単語ばかり覚えてもなあ。

女性：それがね、料理の話だけじゃなくて、文化や歴史の話まで話題がどんどん広がっていくのよ。教科書を使って勉強するよりもずっとおもしろいの。

男性：おもしろいのはいいけど、それで、ドイツ語はうまくなるの？

女性：うまくなったと思う。聞くのも話すのもだいぶ慣れてきたし、間違いは先生が直してくれるから。新しい言葉もメモしてちゃんと覚えているよ。

男性：料理のほうは？

女性：そっちも順調。

男性：一度に両方上達するわけか。

女性：そう。そこが一番いいところなのよ。一石二鳥でいいでしょ？

女性がこの料理教室を気に入っている一番の理由は何ですか。

1. 料理もドイツ語も上手になるから
2. 料理に関する単語を覚えられるから
3. 教科書を買わずにドイツ語が勉強できるから
4. ドイツの文化と歴史を知ることができるから

Track 30

21番 先生が、授業で、新しい技術について話しています。この先生の話によると、この技術に関して、解決されていないことは何ですか。

豆腐を作る過程で出る残りかす、いわゆる「おから」は、その処分に費用がかかるので、問題になっています。そこである研究者が、おからにセルロースという繊維成分が大量に含まれていることに注目し、有効利用ができないかと考えました。というのも、新聞紙からセルロースを抽出して新しい素材を作る方法が、すでにあるからです。この製造方法を応用し、何度も実験をして、ついにおからから発泡スチロールに似た素材を作る技術を開発しました。この素材をさらに加工すれば、豆腐を入れる容器にもなります。しかし、残念ながら容器を生産する機械は、まだ完成していません。豆腐店は規模の小さいところが多いため、このような機械を作る余裕がなく、せっかくの技術が実用化されないままなのです。

この先生の話によると、この技術に関して、解決されていないことは何ですか。

1. 新聞紙から豆腐の入れ物を作る機械を製作すること
2. 新聞紙からセルロースを抽出する技術を実用化すること
3. おからから豆腐の入れ物を作る機械を実用化すること
4. おからから新聞紙を作る技術を開発すること

Track 31

22番 先生が、経済学の授業で、商品の値段について話しています。この先生の説明では、有名ではないメーカーの商品に対して消費者はどのような行動をとることがあると言っていますか。

みなさんは、有名なメーカーの商品が30%引きで売られている場合と、60%引きで売られている場合とでは、どちらがよく売れると思いますか。もちろん、60%引きの場合なのですが、これが有名ではないメーカーの製品だと、安くしたほうが、かえって売れないことがあるんです。これは、有名ではないメーカーの製品が大幅に値引きされていると、その製品の品質が悪いからだと言われたり、あるいは、その製品は人気がなく、普通の値段では売れず、安くなったと言われたりするからだと考えられます。安くなっ

ているのに売れなくなるという現象はこのように解釈できます。

この先生は、有名ではないメーカーの商品に対して消費者はどのような行動をとることがあると言っていますか。

1. 3割引では買わないが、6割引なら買う。
2. 品質がよければ値段に関係なく買う。
3. あまり安くすると買わない。
4. 値引き率に関係なく買わない。

Track 32

23番 女子学生が、先輩の職業について話しています。この女子学生が、先輩の仕事について意外に思ったことは何ですか。

女子学生：先輩は、どんな仕事をしていらっしゃるんですか。

先輩：言語聴覚士なんだけど。病院で、病気やけがのために言葉が出なくなったり、発音がしにくくなった人に、発音や口の動かし方を教えているんだ。

女子学生：じゃ、耳の不自由な人に手話を教えたりとかもするんですか。

先輩：ううん。それは他の専門の人の仕事だね。

女子学生：そうですか。

先輩：それから、老化や脳の病気で、食べ物を飲み込むことが上手にできなくなった人に、もう一度食べられるようになるための訓練をすることもあるよ。

女子学生：え、聞いたり話したりの訓練だけじゃないんですか。

先輩：うん、そうなんだ。

この女子学生が、先輩の仕事について意外に思ったことは何ですか。

1. 病院で仕事をすること
2. 病気や障害を持っていない人にも、話す訓練をすること
3. 食べ物を飲み込む訓練をすること
4. 手話を教えること

Track 33

24番 生物学の先生が、チンパンジーが道具を使ってする行動について話しています。この先生は、どんな点が珍しいと言っていますか。

アフリカの野生チンパンジーの調査で、珍しい行動が見つかったそうです。チンパンジーがレモンの実を食べた後、その葉を使ってレモンの汁がついた口の周りをふくという行動です。

これまで、野生チンパンジーの道具使用で確認されていたのは、枝でアリを釣ったり、石で木の実を割ったりと、大半が食べ物を得るためのものでした。つまり、これまで知られていたのは、道具を食べ物に対して使うということで、木の葉で口をふくといった自分の体に対して道具を使用するという行動ではなかったわけです。ですからこれは、非常に珍しいものなんです。

この先生は、どんな点が珍しいと言っていますか。

1. 道具を使って食べ物をとる点
2. 道具を自分の体に使う点
3. 石のように固いものではなく、木の葉を使う点
4. 自分の体を道具として使う点

Track 34

25番 先生が、ある調査の結果について話しています。この調査の結果から、教室の中央に座る学生の傾向として、どのようなことがわかりましたか。

ある研究者が、どの席に座るかということと、成績や、その授業を「いい授業だ」と思うかどうかとの間の関係を調査しました。

まず、授業を10回行った後、試験をし、授業についてのアンケートを行います。そして、学生の座る位置によって、前、中央、後ろの三つのグループに分け、試験の点数とアンケートの結果をグループ同士で比較しました。

すると、試験の点数が比較的高かったのは前の方の席に座るグループでした。低かったのは後ろのグループ、その中間が中央のグループ、という結果でした。一方、授業について「いい授業だ」と答える傾向があるのは中央のグループで、逆に「いい授業ではない」と答える傾向があるのが後ろのグループ、その中間が前のグループだったということです。

この調査の結果から、教室の中央に座る学生の傾向として、どのようなことがわかりましたか。

1. 試験の結果が一番悪く、授業に対して否定的である。
2. 試験の結果は普通で、授業に対して肯定的である。
3. 試験の結果は普通で、授業に対しては肯定的でも否定的でもない。
4. 試験の結果が一番よく、授業に対して肯定的である。

Track 35

26番 先生が、川の改修工事と川の生態系について話しています。この先生は、川の改修工事が魚に与える影響についてどのようなことが問題だと言っていますか。

自然の川には、「瀬」と呼ばれる川の流が速いところと、「淵」と呼ばれる流が遅いところがあります。流の速い「瀬」は水中植物や虫など、魚にとってえさになるものが多いので、よいえさ場となります。「淵」は川の流が遅いので、卵を生んだり、水が増えたときには、流されないように逃げ込んだりする場所になっています。

しかし、洪水や氾濫を避けるために、人工的に川を直線にしたり、川の底を平らにする工事を行うと、水の流がどこでも同じような速さになります。改修工事によって、自然の川のような多様な環境がなくなり、魚たちも影響を受けてしまうことになるのです。

この先生は、川の改修工事が魚に与える影響についてどのようなことが問題だと言っていますか。

1. 洪水が起こりやすくなること
2. 川の水質が変わること
3. 水量が変わりやすくなること
4. 水の流の速さが均一になること

Track 36

27番 先生が、犯罪の予防について話しています。この先生の話から、自転車の盗難を例にして考えると、「社会的犯罪予防」に当てはまるものは何ですか。

犯罪が起きないようにするための「犯罪予防」には、「状況的犯罪予防」と「社会的犯罪予防」の二つの取り組みがあります。たとえば、みなさんは家を出るとき、鍵をかけますよね。留守中に泥棒が入らないようにするための最低限の防止策です。このように、泥棒が犯罪行為をしにくいような状況を作ることを「状況的犯罪予防」と言います。状況的犯罪予防は、犯罪が起きる機会を物理的に減らすので、速効性があります。

それに対して、人の物を盗むことは悪いことだと教育し、泥棒をする人がいなくなるようにすることが「社会的犯罪予防」です。社会的犯罪予防は人の心に働きかけるため、効果が出るまでに時間がかかります。また、実際に効果が出ているのかを調べるのも容易ではありません。

この先生の話から、自転車の盗難を例にして考えると、「社会的犯罪予防」に当てはまるものは何ですか。

1. 自転車を人目に付くところに置かないようにすること
2. 地域で自転車の盗難防止パトロールを強化すること
3. 他人の自転車に勝手に乗るのは悪いことだと教えること
4. 自転車の鍵をかけ忘れないようにすること